

# 生活科学習指導案

安芸高田市立来原小学校

指導者 田村 眞由美

1 学年 第2学年 男子 7名 女子 9名 計16名

2 単元名 げんきにそだて

～いきものランドをつくるう～

### 3 単元について

本学級の児童は、1年生の時は主に「来原の自然」をテーマに活動した。飼育・栽培に関しては、アサガオ・チューリップ・ヒヤシンス・サツマイモの栽培を行い、チャボとのふれあい、バッタやコオロギ、カブトムシなどの飼育を経験した。

本学級には、動物図鑑や昆虫図鑑など好んで読んでいる児童や、家庭で小動物を飼育してよく話をしてくれる児童がいる。事前アンケートによると、16名全員が、「生き物は好き」と答え、今までに何らかの生き物を飼育した経験をもっていることが分かった。カブトムシ、クワガタ、金魚は、半数以上の児童が飼育したことがあると答えており、生き物に対する興味・関心は高いといえる。しかし、昨年度、秋の虫を教室で飼育した時は、はじめは積極的に世話をし、意欲的にかかわったが、なかなか長続きがしなかった。また、生き物に対する知識はあっても、それが実際に体験から生まれたものでなく、書籍やテレビなどからの情報によるものが多い。そこで、本学級の児童には、今までの知識をこの単元において直接体験により裏付けさせ、どんな小さな生き物にも命があるということを実感し、これからの生活の中で生き物に対する接し方について考えられる子になってほしいと考えた。

子どもたちが身近な自然にふれて自分とのかかわりに気付くことは、生活科の大きなねらいの一つである。とりわけ日常的に生き物、なかでも小動物にかかわり、直接手でふれて世話をし、育てていく活動は、その生態や飼い方の知識を得ることばかりでなく、自立した生活者の心情面での基礎を身に付けていく「よさ」をもっている。誕生・成長・呼吸・食物摂取・排泄・産卵、そして死ぬのが生き物である。自らの本能や意思で行動し、他者の都合を受け入れず人間の思い通りにならないのが生き物である。このような生き物とのかかわりは、子どもの生活の中に大きなドラマを生み、生への感動・驚き・悲しみ・喜び・優しさなどを味わう体験となる。そこから、「生きている」ことを実感し、生と死、自分と他者とのかかわり、自分への気付きなどを身に付けていくことが期待される。

指導にあたっては、来原地域で容易に採取しやすいカタツムリを設定した。カタツムリは危険性も少なく、世話をしやすい小動物である。生き物が苦手という児童でも触ったり世話をしたりすることができるであろうと考えられる。一人一人がカタツムリを世話することで、「自分のカタツムリ」という愛着と責任をもたせていきたいと考える。

そして、カタツムリを飼育しながら児童が感じた不思議について追究する場を設定する。飼育をしながら、カタツムリの好きな食べ物について調べたい児童が出てくるであろう。また、いろいろなえさをやることでフンの違いに気付いてくる児童がいるであろう。さらには、カタツムリのこうした様子から、「どんなところでも這うのかな」「逆さまになっても這うことができる

のは何故なのかな」と体の特徴に気付いたり、もっと調べたいと思ったりする児童が出てくるだろう。児童の調べたい、確かめたいという思いを大切に、そのことを追究する場と時間を十分設け、一人一人の児童が主体的に活動できるようにしていきたい。

さらに、カタツムリ以外の様々な生き物について飼育をしたいという思いが児童の中から出るであろう。児童の発展的な活動としていろいろな生き物を飼育させたい。さらに、生き物の飼育を通し気付いたことを紹介する「生き物ランド」という場を設定する。ここでは、1年生を招待して生き物クイズをしたり一緒に遊んだりして、自分たちの気付いたことをより明確に実感できるようにしたい。また、1年生を意識して活動することで、自分のよさに気付く子になってほしいと考える。

このような生き物と繰り返しかわり遊ぶ活動を通して、生き物に関心を持ち、それらが生命をもっていることや成長していることに気付かせたい。

生き物を採取する際には、安全に活動できるよう配慮するとともに、カタツムリなどを触った後は必ず手洗いをさせるなど衛生面にも気を付けていきたい。

#### 4 単元の目標

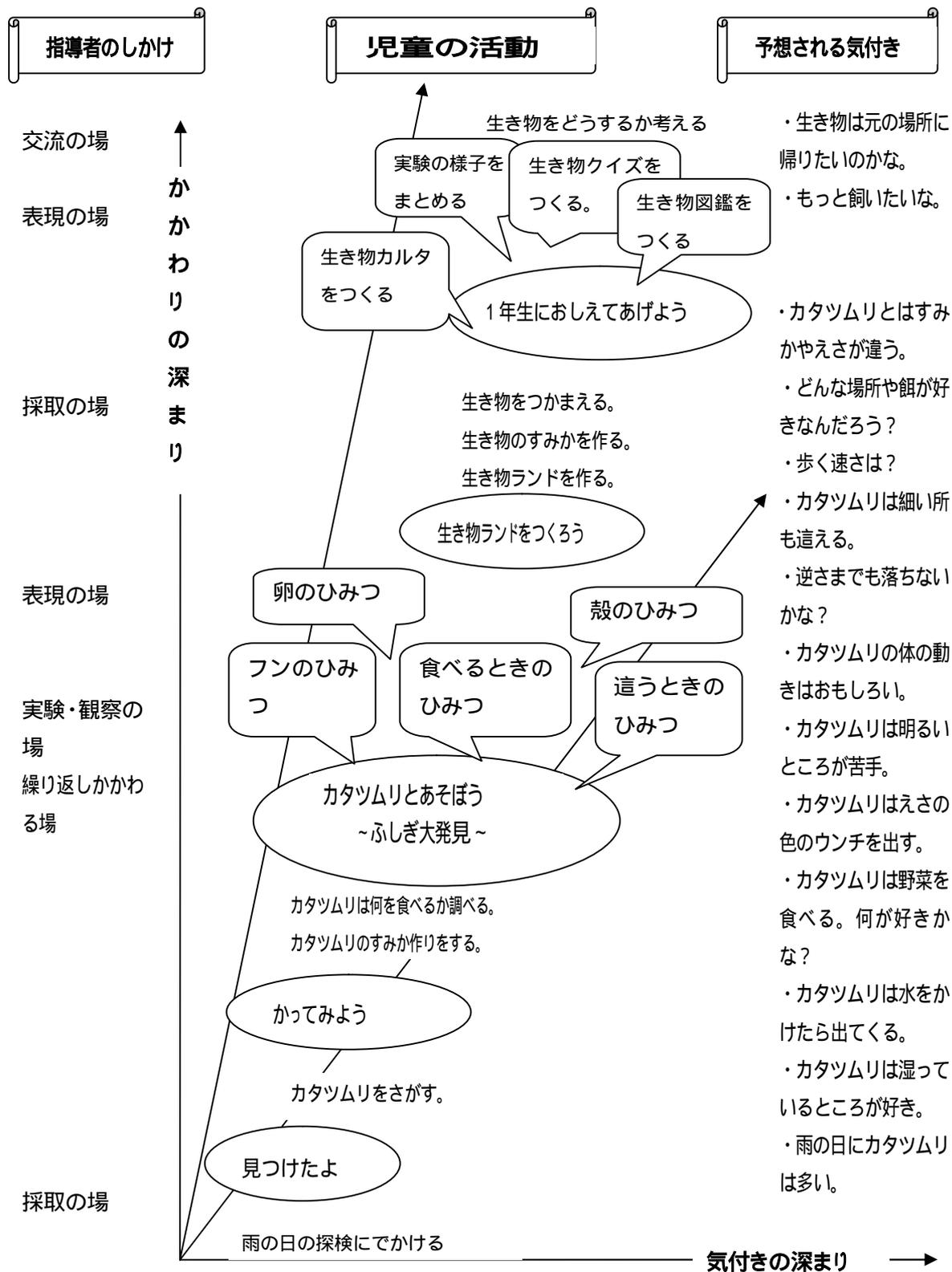
生き物とかかわりながら、生き物の生息環境、食べ物、体のつくりや行動の特徴などの気付きを深め、身近な自然に目を向け、親しむことができる。

生き物の観察や世話をすることにより、生き物にも自分と同じように生命があり、成長していることに気付くことができる。

#### 5 単元の評価規準

ア 生活への関心・意欲・態度	イ 活動や体験についての思考・表現	ウ 身近な環境や自分についての気付き
<p>生き物に親しみを持ち、進んで生き物について知りたい、飼ってみたいと思っている。</p> <p>生き物に関心を持ち、生き物をかわいがり、成長を楽しみにしながら、進んで世話をしようとしている。</p>	<p>生き物の成長の様子や体の特徴など気付いたことや感じたことを友だちや先生に話しかけている。</p> <p>生き物のことを考えて、えさについて調べたり、すみかを工夫したりしている。</p> <p>生き物にふれたり、観察したりしたことや、生き物を飼育してみて感じたことや思ったことを、絵や文などに表現できる。</p>	<p>生き物も自分と同じように食べ物を食べ、成長していくことや、命があり生きているということに気付いている。</p> <p>生き物の特徴や、ほかの生き物との違いに気付いている。</p> <p>友だちと仲よく生き物を世話したことの楽しさに気付いたり、生き物の身になって世話をするようになった自分に気付いたりしている。</p>

6 単元構想図 (全13時間)



7 指導と評価の計画（全13時間 本時 第3次2時間目）

次	内 容	評価の観点			主な支援		
		関	思	気	評価規準(方法)	場の工夫等	言葉かけ
見つけたよ (2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生き物を見つけたり、つかまえたりした経験を出し合う。</li> <li>・雨の日の生き物の様子を見に出かけ、カタツムリをつかまえる。</li> <li>・つかまえたカタツムリをどうするか話し合う。</li> </ul>				ア 生き物探しに関心をもち、進んで計画を立てようとしている。(行動、会話) ウ 生き物の住んでいる場所やその特徴に気付いている。(行動、つぶやき、会話)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前にカタツムリがいる場所を調べ、そこに児童を導く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな生き物を飼ったことがありますか。</li> <li>・カタツムリは、どんなところにいるかな。</li> <li>・たくさんいるところはどこかな。</li> </ul>
かってみよう (2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つかまえたカタツムリを飼うために、すみかや食べ物について調べ、すみかを作る。</li> <li>・カタツムリを大切に育てながら、成長や変化の様子を観察カードに記録する。(常時)</li> </ul>				ア 生き物のすみかや育て方を進んで調べたり、親しみをもって世話をし、育てようとしていたりしている。(行動、カード) イ 採集してきた生き物のすみかの様子から育て方を考える。(行動、会話) ウ イ 世話をしながら気付いたことを、自分なりの方法で表現することができる。(つぶやき、カード)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飼育のための場づくりでは廃品利用など工夫させる。</li> <li>・調べる場では、図書室の本だけでなく他の図書を借りたり、インターネットで調べたりする場を用意する。</li> <li>・不思議だと思ったことを記録するカードを用意する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カタツムリを飼うために何をしたらいいかな。</li> <li>・すみか</li> <li>・食べ物</li> </ul>
カタツムリとあそぼう (3) 本時 2 / 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カタツムリを飼育しながらもっと知りたいことを調べる計画を立てる。</li> <li>・カタツムリ博士になろう。</li> <li>・カタツムリを育てていて不思議だなあと思ったことをさぐったり、試してみたいことをやってみたりする。</li> <li>○好きな食べ物は何？</li> <li>○フンの色はどうして変わるの？</li> <li>○どんなところでも歩けるの？</li> <li>○カタツムリの体はなぜねばねば？</li> <li>○カタツムリの目や口はどこ？</li> </ul>				ア カタツムリの不思議を発見しようと思欲的である。(行動、カード) ア 調べたいことを自分の考えた方法で意欲的に調べている。(行動) ウ カタツムリの体の特徴に気付いている。(行動、つぶやき、会話、カード)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・繰り返しかかわったり、調べたり試したりできるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カタツムリのひみつを見つけよう。</li> <li>・飼ってみてカタツムリって不思議だなあと思ったことは。</li> <li>・ねばねば</li> <li>・目</li> <li>・口</li> <li>・フンの色</li> <li>・体の動き</li> <li>・触角</li> <li>・殻</li> </ul>

	<p>○つので何をするの？ ○卵はいつどのように産むのかな？ ・気付いたことを発表する。</p>				<p>イ 気付いたことを表現することができる。 (発表・カード)</p>	<p>・分かったことを交流する場を設定する。</p>	<p>・カタツムリについて新しい発見がありましたか。</p>
<p>生き物ランドをつくるう (3)</p>	<p>・カタツムリだけでなく、もっと生き物を増やして、「生き物ランド」をつくる計画を立てる。 ・生き物をつかまえる。 ザリガニ カメ ドジョウなど ・生き物のすみかや食べ物を調べ、すみかを作る。 ・生き物を飼育する。</p>			<p>ア 生き物探しに関心を持ち、進んで計画を立てようとしている。(行動) ウ 生き物の住んでいる場所やその特徴に気付いている。(行動、会話)</p> <p>イ 採集してきた生き物のすみかの様子から育て方を考えて工夫する。(行動、会話、つぶやき)</p>	<p>・生き物採取の際には、安全な場所を選ぶ。  ・世話をするのに必要な準備を支援する。</p>	<p>・もっと生き物と仲良くなるう。 ・どこに行けば生き物と会えるかな。 ・連れてかえた生き物は、どうやって世話をしたらいいのかな。 ・カタツムリのすみかやえさじゃだめなのかな。</p>	
<p>1年生におしえてあげよう (3)</p>	<p>・「生き物ランド」に1年生を招待する計画を立てる。 ・「生き物ランド」を開く準備や練習をする。 ・「生き物ランド」を開く。  ・「生き物ランド」の活動を振り返り、これからのことを話し合う。</p>			<p>ア 「生き物ランド」の準備や仕事に進んで取り組もうとしている。(行動、作品) ウ 自分たちの飼っている生き物のことがよく分かるように、工夫して説明をすることができる。(行動、作品、発表、対話) ウ イ 飼い続けてきた生き物をこれからどうするか、いろいろ意見をもとに判断することができる。(行動、カード)</p>	<p>・グループで活動しお互いに協力させる。  ・1年生も生き物にふれることができ、一緒に活動できるような場にする。</p>	<p>・どんなことを教えてあげたら1年生はびっくりするかな。  ・どんな方法で教えてあげると1年生によく分かるかな。  ・飼い続けてきた生き物はどうしますか。</p>	

( ) 付き数字は、時間数を示す

ア関・意・態 イ思・表 ウ気付き

付き数字は、評価規準の番号

## 8 本時の展開

### (1) 本時の目標

カタツムリの飼育を通して不思議だと思ったことや試してみたいと思ったことを、一人一人自分で考えた方法で行い、カタツムリの体の特徴に気付く。

### (2) 評価規準

観察や実験をして、カタツムリの体の特徴に気付いている。(気付き)

自分のやり方で、意欲的に調べたり試してみたりしようとしている。(関・意・態)

気付いたことを表現することができる。(思・表)

### (3) 準備物

カタツムリ、発見カード、割り箸、ひも、糸、プラスチック板、砂、水、木の枝、針金、ガラス板、虫めがね、霧吹き、ビデオなど

### (4) 本時の展開

学習活動	予想される児童の反応	指導上の留意点(言葉かけ)	具体的な評価規準(方法)
<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>カタツムリが歩く時のひみつを発見しよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カタツムリはどんなところでも歩けるのかな？</li> <li>・つるつるしたところも歩けるかな？</li> <li>・ぎざぎざでも歩けるかな？</li> <li>・砂の上でも歩けるかな？</li> <li>・細い糸でも歩けるかな？</li> <li>・逆さまでも落ちないのかな？</li> <li>・後ろに進めるのかな？どうやって進むのだろう。</li> <li>・離れていたらどうやって進むのだろう。</li> <li>・カタツムリのねばねばが関係ありそうだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カタツムリが歩いたり壁にくっついていたりしている様子をビデオで提示し、カタツムリの動き方に興味を抱かせ、本時の活動に対し、意欲をもてるようにする。</li> <li>・前時に出し合った疑問を提示する。</li> </ul> <p style="text-align: center;">今日は、カタツムリをよく見てまた大発見をしよう。どんな大発見があるかな？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今までの観察から、カタツムリが歩くとき、こうではないかな、こうなるのではないかなと予想させる。</li> <li>・対立した予想を大切に、調べてみようという意欲を高める。</li> <li>どうやったら調べることができる？</li> <li>いつでもそうなのかな？</li> <li>ほかにも調べる方法はないかな？</li> <li>大発見がいっぱいできそうだね。</li> </ul>	
<p>2 疑問を解決するために、実験をしたり調べたりする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ぎざぎざのところは痛そうだね。</li> <li>・細いひもの上も上手に歩くね。</li> <li>・体を巻き付けているよ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じことをやりたい児童をグループにして、友だちとかかわりながら調べさせる。</li> <li>・気付いたことを自覚させるように言葉かけ</li> </ul>	<p>カタツムリの体の特徴に気付いている。</p> <p>(行動・つぶやき・会話・カード)</p>

<p>3 「今日の新発見」を 発表する。</p> <p>4 大発見カードを書 く。</p> <p>5 片付ける</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩いたあと白いあとがつくよ。</li> <li>・もっと～方法もやってみよう。</li> <li>・離れているときは体を伸ばすよ。</li> <li>・触覚で探しているようだったよ。</li> <li>・湿ったところを通る時が嬉しそう だ。</li> <li>・逆さまにしても落ちないのはどうし てだろう。(問い) ねばねばと体の 巻き付き</li> </ul> <p>今日の新発見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・～を発見したよ。</li> <li>・～ふうに動いたよ。</li> <li>・ねばねばしているから逆さまになっ ても落ちないんだ。</li> <li>・細いところは体を巻きつけるんだ。</li> <li>・予想通りだったよ。</li> </ul> <p>こんなことも調べたいよ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目が見えるのかな？</li> <li>・音が聞こえるのかな？</li> <li>・卵を産むのかな？</li> <li>・どれがオスでどれがメスなのかな？</li> </ul>	<p>をする。</p> <p>細かい動きを児童が見落とさないように 声をかける。</p> <p>児童の表現を引き出す。</p> <p>ここ見て。どうなっている？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やっている途中で新しい活動をしてもいい ことを伝える。</li> </ul> <p>活動が滞っている児童に声をかけたり、共 に活動したりして、活動が持続するよう支援 する。</p> <p>自分のやったことと比べて聞こう。(話 し方の例を示す)～を発見したよ、ぼくが 見たときはこんな様子だったよ、～予想は こうだったけれど、見たら～様子だった よ、～が不思議だったよ</p> <p>活動の途中で気づきを自覚化させるよう な言葉かけを行い、それについて思い出させ るように促し、引き出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小さなことでも認めていき、次時の活動に つながるよう意欲付ける。</li> </ul> <p>この次は何をしたい？もっと知りたい ことは？</p> <p>今日の素晴らしい大発見を書きとめて おこう。(絵や文章)</p> <p>動植物の世話をした後は、必ず手洗いを するよう指導する。</p>	<p>(B)観察したカタツムリの動きの 事実についての気づき。</p> <p>(A)各器官や粘液の役割につい ての自分なりの気づき。</p> <p>自分のやり方で意欲的に調べよ う、試してみようとしている。</p> <p>(行動)</p> <p>(B)計画したやり方を意欲的に試 す。</p> <p>(A)やり方を工夫し、いろいろ(一 つのことを深く、様々なことを 広く)試してみようとしてい る。</p> <p>気付いたことを表現することが できる。(発表・カード)</p> <p>(B)自分の発見を言葉で表現して いる。</p> <p>(A)友達の気づきに、付け加え たり比較したりして、表現する ことができる。</p>
---	--	--	--

努力を要すると判断した児童への支援

教師の言葉かけ

・主な支援